

□議員名：山田伸幸

1 高すぎる国民健康保険料の引き下げを

論点	国民健康保険料は一世帯あたり5年間に5万円も上がっている。保険料引き下げに特別な対策を。
回答	国保料は医療費と連動しており、医療費引き下げのために市民に二つのお願いをしたい。一つは医薬品のジェネリック医薬品への切り替えと、もう一つは複数の医療機関にかかる重複受診をやめること。しかし、保険料は高く限界にきている。時には税金投入ということも必要である。

論点	市は保険料長期滞納者から保険証を取り上げている。これが医療にかかれず、なくなる事件につながっている。保険証の取り上げはやめよ。
回答	国保の資格がある資格証明書については、慎重に対応している。以前は市長も加わり決定していたが、最近は関与してこなかった。

論点	所得200万円4人家族のモデル世帯では、5年前に比べ所得は変わっていないのに保険料は167,000円も上がっている。高すぎないか。
回答	保険料が高いとは認識しているが、所得が低いから保険料を低くして、それで国保事業がまかなえることにはならない。特別会計であるから会計内でまかなって行くことが原則だ。

山陽小野田市国民健康保険年度ごと比較

単位 円

年 度	2008	2009	2010	2011	2012
一世帯あたり保険料	134,659	156,251	170,526	183,269	
一人あたり保険料				115,686	114,739
モデル世帯保険料	312,045	379,570	435,970	483,430	479,230

※モデル世帯とは 所得200万円 夫婦(いずれも40才以上)と子ども二人世帯

資格証明書及び短期保険証の状況

年 度	2008	2009	2010	2011	2012
資格証明書 (件)	397	366	309	475	496
短期保険証 (件)	278	373	412	338	417
保険料収納率 (%)	90.75	89.65	90.33	90.38	

2 児童登校路の安全対策について

論点	各学校から市教委宛に登校路の安全対策要望が出されているが、ほとんど対応できていないではないのか。
回答	できるだけ対応したいが十分な予算がなく、対応し切れていない。学校、道路管理者、警察等の関係者との緊急合同点検を行うこととしており、抽出された危険箇所については、対策案を作成し、関係機関とも連携して改善を図っていききたい。

論点	登校路の安全対策予算そのものが少なすぎ、学校から安全対策を要望されても実施できないのでは。
回答	道路関係予算は優先度によって補修する順序を持って対応している。

3 自然再生エネルギー採用へ本格的な取り組みを

論点	全国各地で太陽光、小水力などを利用して再生可能エネルギーの取り組みを進めている。市としても本格的に取り組んではどうか。
回答	小型の風力発電など、今後ますます技術開発が推進され、自然エネルギーの利活用の幅も広がることが予想される中で、比較的雨が少なく風も穏やかな瀬戸内式気候の山陽小野田市には、どんな自然エネルギーの利用が適しているのかは、事業者や市民とともに研究していききたい。

論点	北海道では地域内の森林資源を利用して、重油ボイラーから木質ペレット燃料に切り替え、雇用増などの効果が上がっている。専門的に検討を進める体制をとっては。
回答	以前、バイオスタウン構想実現に向け、職員や外部の専門家を招いて検討し、あと一歩までこぎつけた経緯がある。 新しい機構の設置は、国や県の施策等を見守りながら検討したい。